

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課

担当課長名： 斉藤 親

事業名	あまがさきいたみ 尼崎伊丹線		事業区分	街 路	事業主体	兵庫県
起終点	ひょうごけんあまがさきしみなみつかぐちちょう 自：兵庫県尼崎市南塚口町 ひょうごけんあまがさきしつかぐちほんまち 至：兵庫県尼崎市塚口本町		延長	0.4 km		
事業概要	<p>本路線は、阪神間地域の主要な南北幹線道路であって、当該区間は阪急電鉄神戸線と2車線の跨線橋により立体交差している。このため交通が集中し慢性的な交通渋滞が発生するとともに、また、跨線橋も老朽化（昭和7年供用）していることから、鉄道を高架化し道路を拡幅するものである。</p> <p>なお、本路線は阪神淡路大震災復興計画において都市圏防災幹線道路の復興特別路線に位置づけられており、復興事業の最重点路線として整備しているところである。</p>					
S 6 1 年度事業化	S 2 1 年度都市計画決定 (S 5 9 年度変更)	S 6 1 年度用地着手	H 7 年度工事着手			
全体事業費	8 6 億円	事業進捗率	9 5 %	供用済延長	0.4 km	
計画交通量	2 8 , 0 0 0 台 / 日					
費用便益 分析結果	B / C (事業全体) 4.5	総費用 (事業全体) 101 億円 (事業費：100.5 億円 維持管理費：0.4 億円)	総便益 (事業全体) 454 億円 (走行時間短縮便益：441.9 億円 走行費用減少便益：11.4 億円 交通事故減少便益：1.0 億円)	基準年 平成15年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道により一体的発展が阻害されている地区を解消する。 ・歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される。 					
関係する地方公共団体等の意見	阪神間東部の南北を結ぶ骨格的道路として本路線を含め川西市までの区間について、尼崎市、伊丹市及び川西市からなる「尼崎港川西線外3線街路事業整備促進期成同盟会」より、渋滞解消に向け整備促進及び早期完成の要望がある。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	本路線は、阪神間地域の主要な南北幹線道路であり、震災後は都市圏防災幹線道路に位置づけられている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成14年3月には高架仮線方式により、(都)尼崎伊丹線を4車線暫定供用し、平成15年度末には本線切替を行う。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成15年11月に下り線、平成16年3月に上り線の本線切替を行い、引き続き仮線撤去工事、平成17年度(都)尼崎伊丹線の4車線完成を図る予定である。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	阪神地域の南北主要幹線道路として必要性は事業採択時よりも高まっており、事業完了の目途も立っていることから継続して事業を実施する必要がある。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。